



2022年4月25日

各位

会社名 塩野義製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 手代木 功
(コード番号 4507 東証プライム)
問合せ先 広報部長 京川 吉正
TEL (06) 6209-7885

業績予想の修正（上方修正）および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年11月1日に公表した2022年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、2022年3月期の期末配当予想について、下記の通りとすることを決議しましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株 当たり当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	294,000	90,000	115,000	100,000	331.71
今回修正予想 (B)	335,000	110,000	126,000	114,000	378.14
増減額 (B-A)	41,000	20,000	11,000	14,000	—
増減率 (%)	13.9	22.2	9.6	14.0	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	297,177	117,438	143,018	111,858	365.03

2. 業績予想修正の理由

当社が創製し英国 ViiV Healthcare Ltd.（以下、ViiV 社）に権利を移転した抗 HIV 薬 dolutegravir ならびにその関連化合物を包含する特定の特許に対する Gilead Sciences Inc.（以下「Gilead 社」）の抗 HIV 薬 Biktarvy（bictegravir を含む 3 剤配合剤）の特許権侵害訴訟の和解ならびに dolutegravir の関連特許に係る特許ライセンス契約の締結¹により、Gilead 社が ViiV 社に支払う一時金から、当社もその一部を売上収益として認識いたしました。また、今後の米国における Biktarvy の売上高および bictegravir を成分に含む将来の製品売上高の bictegravir に係る金額に対して支払われる 3%のロイヤリティーについては、ViiV 社との協議の結果、当社が将来受領予定のロイヤリティー相当分についても、2022年3月期の売上収益として認識することで決定いたしました。それらの結果、売上収益につきましては、前回発表予想を上回る見込みとなりました。各利益につきましては、売上収益が増加する一方で、研究開発費が増加したこと、ViiV 社からの配当受領の期ずれがあったこと等により、前回発表予想を修正するものであります。なお、対前年においても増収増益を達成する見込みです。

3. 配当予想の修正について

2022年3月期（第157期）期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	55.00円	110.00円
今回修正予想	—	60.00円	115.00円
当期実績	55.00円		
前期実績 (2021年3月期)	53.00円	55.00円	108.00円

4. 配当予想修正の理由

当社グループは、成長投資と株主還元のバランスを取りながら企業価値の最大化を図り、中長期的な利益成長を株主の皆さまにも実感していただける施策を推進しています。配当につきましても、DOE 4%以上を指標に、企業価値の成長に応じて安定的に高めていくことを目指しております。

2020年6月公表の中期経営計画 STS2030 に則り、創薬型製薬企業としての強みをさらに進化させ、ヘルスケアサービスを提供する HaaS*企業へと自らを変革し、社会に対して新たな価値を提供し続けていくことで、患者さまや社会が抱える困りごとの解決に貢献することをビジネスの方向性に掲げ取り組んでまいりました。2022年3月期は、COVID-19の経口治療薬 S-217622 および予防ワクチン S-268019の早期実用化を目指し、COVID-19関連の研究開発活動へ費用を含めたリソースの集中投資を行いました。通期連結業績予想としては、前述の通り2021年11月1日に公表した前回予想を上回り、かつ対前年で増収増益を達成できる見込みとなりました。また、2023年3月期からは、先行投資を行った COVID-19 関連製品の実用化に伴う収益を確保できると考えております。

このたび、上記の背景ならびに財務状況、STS2030の株主還元指標であるEPS、DOE、ROE等を総合的に勘案した結果、前回発表（2021年5月10日）の期末配当予想を1株当たり5円増配の60円に修正することといたしました。これにより、中間配当と合わせた年間の配当金は1株当たり115円となり、前期と比べて7円の増配となります。

* Healthcare as a Service の略。医薬品の提供にとどまらず、顧客ニーズに応じた様々なヘルスケアサービスを提供すること

（注）上記の業績予想及び期末配当予想における情報は、現時点において当社が入手している情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上

参考：

1. [2022年2月3日 プレスリリース](#)

ViiV社の抗HIV薬 Dolutegravir に対する Gilead社 Biktarvyの特許権侵害訴訟の和解ならびに特許ライセンス契約の締結に関するGSK社の発表について